

【FISA10】

## 123. シン・プロジェクトマネジメント ～ウオーターフォールとアジャイルの使い分け～

### 1. 研修要領

・ITSS	3-4
・研修実施日	2024年8月27日(火)～2024年8月28日(水)
・研修実施時間・日数	9:30 ～ 16:30 (6時間/日)/ 昼休憩 12:30 ～ 13:30 (60分)
・研修会場	福岡ソフトウェアセンター 福岡研修室
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	56,700円(FISA会員) / 63,000円(FISA非会員)

### 2. 対象者

デジタル時代にクラウドサービスのプロジェクトに関わるプロジェクトリーダー・これから関わるメンバプロジェクトマネジメントの基礎知識を有していることが望ましい

### 3. カリキュラムの概要

デジタル時代における価値創造、ビジネススピードに合わせて、いまや「変化への対応」を要求される時代です。そのビジネスは、プロジェクトマネジメントが成功の鍵を握っています。そこで、既存のウオーターフォールとPMBOKという枠にとらわれず、必要に応じて「適応型」のアジャイルプロジェクトのエッセンスを取り入れ、自らが最適なアイデアでプロジェクトを推進するスキルを習得していただくコースです。

### 4. 使用教材

オリジナルテキスト

### 5. 到達目標

自分たちなりに考える、アジャイルなメンバとなりPMBOK,アジャイルプロジェクトの特徴を理解し、  
自分でそれぞれのよいところを採用して、プロジェクト計画を立案することができるようになる。

### 6. カリキュラムの詳細

2日間(12時間)

科目	時間	科目の内容
1日目	3.0h	◆DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル ◆顧客視点からビジネス上の価値を考える ◆DX時代のプロジェクトマネジメント～ PMBOKの動向 ◆エンタープライズアジャイルの動向
	3.0h	◆アジャイルプロジェクトとは ◆アジャイル・プロジェクトマネジメント ～ scrumの概要 ・アジャイルチーム <実践ワークショップ:ストーリーテリング>
2日目	3.0h	◆ウオーターフォールとの本質的な違い<クイズ> <実践ワークショップ:ライトニングトーク> ◆ウオーターフォール.vs.アジャイルの使い分けの分岐点 ◆よくある失敗(契約・顧客の認識・メンバーの勘違いetc)
	3.0h	◆DevOps～プロダクトマネジメントとプロジェクトマネジメント ◆さまざまなツールを使ってみる <実践ワークショップ:アジャイルのツールを活用してみる> ●まとめ
計	12.0Hr	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。